

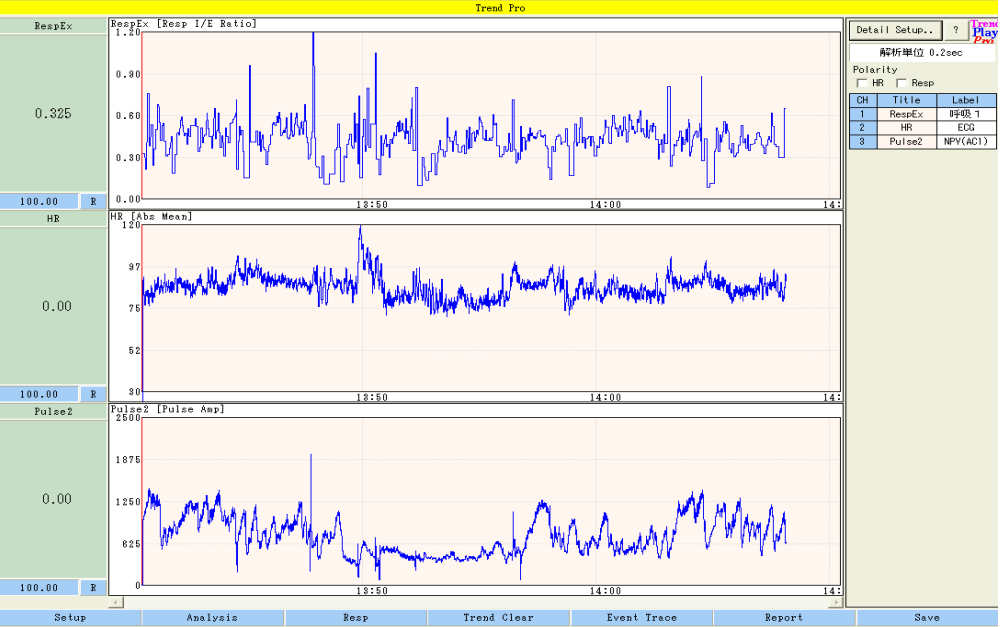
Bio Trend Pro Resp Analysis

バイオトレンドプロ呼吸解析機能プログラム (Bio Trend Pro Resp) は、判読リーダー (Bio Signal Viewer, AP-Viewer) にアドインして PSG フォーマットで収録保存されたデータを読み出してオフラインで振幅情報 (平均, 絶対値平均、P-P 値、最小値、最大値) や脳波周波数解析値, HR 数, 呼吸解析の詳細パラメータ値を計測し、トレンド表示とレポート出力を行うトレンド機能に、マニュアルイベントごとのパラメータ集計機能やトレンド波形の特徴極性表示を追加したオプションプログラムです。

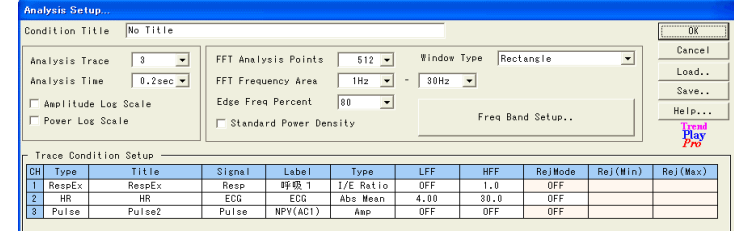
特徴

- Bio Signal Viewer, AP-Viewer のオプションソフトとして機能します。
- 最大 16 トレースまでのトレンド解析が可能です。
- 最大 8 のトレース解析条件を保存・読み出しが可能です。
- 最大 96 時間までのトレンド表示が可能です。
- 呼吸検出はオート検出後に、マニュアルでピーク修正して精度を上げることができます。
- 任意解析区間内の各種パラメータを計測してトレンド表示します。
 - 解析パラメータ 1 (平均、絶対値平均、最大値、最小値、最大-最小)
 - 解析パラメータ 2 (心拍 平均、絶対値平均、最大値、最小値、最大-最小)
 - 解析パラメータ 3 (周波数解析 任意帯域パワー、含有率、平均周波数、エッジ周波数)
 - 解析パラメータ 4 (脈波解析 振幅、ベース値、トップ値)
 - 解析パラメータ 5 (呼吸解析 呼吸数、呼吸振幅)
 - 解析パラメータ 6 (拡張呼吸解析 呼吸数、呼吸振幅、呼吸スピード、呼吸時間、I/E 比)
- 基準値を設定することで、相対値トレンドが可能です。
- トレンド内のカーソル指定点の値を表示可能です。区間内の平均値計測も可能です。
- トレンド内で表示タイプやスケール範囲を変更可能です。
- マニュアルイベントごとに各パラメータの集計を行いテキスト出力できます。
- 波形表示と連動動作が可能です。●トレンド結果を TND-CDM 形式ファイルで保存が可能です
- レポート印刷が可能です。●トレンド結果を CSV 形式ファイルで保存が可能です。
- グラフイメージを Metafile 形式でクリップボードへコピーできます。

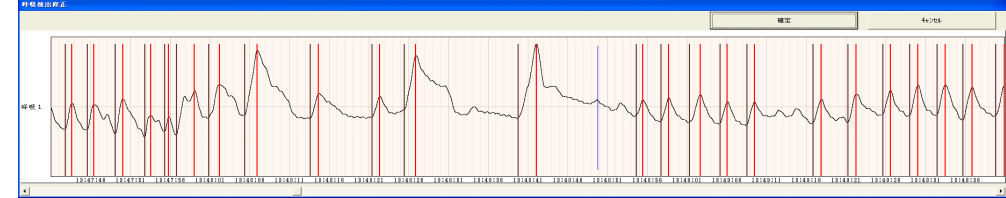
機能画面



設定画面



呼吸検出のマニュアル修正



イベント集計



イベントオート集計設定



仕様

- 解析トレース数 最大 16 トレース
- 解析トレンド時間 最大 96 時間
- 解析パラメータ Amp, Freq, HR, Pulse, RespEx (Rate, Amp, Speed, Time, I/E 比) の選択
- 相対値機能 任意の相対値を設定することで可能
- 解析区間 0.2 秒～60 秒
- フィルター処理 LFF, HFF をチャンネル単位で処理可能
- トレンド表示 解析パラメータのトレンド表示 任意表示区間可能
- 波形表示との連動 可能
- イベント集計 自動可能 マニュアルイベントの前後区間指定
個々のイベント単位で設定変更可能 ファイル出力&クリップボード
- レポート印刷 可能
- ファイル出力 トレンドパラメータの CSV 形式保存、トレンド結果のバイナリ保存
- イメージ出力 Metafile形式でのクリップボードコピー

このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

動作環境

- パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) ペンティアムⅢ 500MHz 以上
- メモリ 1.0GB 以上 Windows7, 8 は 2GB 以上
- 空きHD容量 10GB 以上
- 表示解像度 1280×1024 以上 (解析時には 1600×1200 以上推奨)
- 対応 OS Windows2000, Windows Xp, Windows7, Windows8 (日本語環境)